

環境・暮らしの学校
24

まじめに 10A（アンペア）！ — 地球と家計を守る豊かな生活術

3.11 東日本大震災と福島第一原発事故の後、「大量の電気を使う暮らし」のあり方が問われています。「電気を極力使わずに暮らしたい」「快適さや便利さだけを求める暮らし方はもういや！」と、多くの人が感じ、代替案を探しているのではないのでしょうか。そんな中、すでに「アンペアダウン」「非電化」を実践したり、地域でのエネルギー自給をめざし活動する人たちが、実は身近にたくさんいます。こうした実践者の暮らしは、電気を極力使わないことで生まれる知恵と工夫がぎっしり詰まった、本当の意味での「豊かさの宝庫」。「電気がないと普通の暮らしができないのでは？」「便利さにどっぷり使った私にもできるかな？」と不安や疑問に思うあなた！ まずは先輩たちの経験や具体的なアイデアをその目で見てみましょう。電気に頼りすぎない暮らし方は、可能です！

■ 2013年6月～12月 ■ 基本的に月1回 土曜日午後
■ 全7回/定員20名 ■ 受講料：24,000円
※出かける回は交通費、食費、宿泊費などが別途かかります。

6/26（水）

オリエンテーション

下りてゆく時代 — 今こそ、スローダウン・アンペアダウン！

大江正章
(PARC代表理事/ commons 代表)

小林孝信
(PARC会員/松戸市民ネットワーク 編集担当)



電気に依存しない暮らしとは、耐え忍ぶことではありません。新たな楽しさやつながりを発見し、成長神話から解放され、本来の第一次産業に寄り添って生きるスローライフです。

●主著：大江正章『地域の力 食・農・まちづくり』岩波新書 2008/大江正章『放射能に克つ農の営み ふくしまから希望の復興へ』(共著) commons 2012
●参考文献：小林孝信『超エコ生活モード 快にして適に生きる』commons 2011/藤村靖之『非電化思考のすすめ』WAVE出版 2012



7/13

千葉県松戸市を訪ねる

45年間、20アンペア・電気代月1000円で生きています。

— スーパー実践者が語る
小林孝信 (PARC会員/松戸市民ネットワーク 編集担当)

巷ではエコ活動で「できるところから……」とよくいわれます。他方で、ちょっとムリそうでも飛躍してみると「何だ、意外と楽にできるんじゃない！」ということも多いのでは。わが生活もそんなところですよ。

●主著：『超エコ生活モード 快にして適に生きる』commons 2011 ●参考文献：ガルブレイス『ゆたかな社会』岩波現代文庫 2006/佐伯啓思『欲望と資本主義』講談社現代新書 1993

8/3

東京都港区を訪ねる

楽しい5アンペア生活 — 目からウロコの「使わない豊かさ」

斎藤健一郎 (朝日新聞文化くらし報道部 記者)

「普通の暮らしはできなくなりますよ」と東京電力に言われながら、おそろおそろ始めた5アンペア生活。1年が経ち、東電の言うとおり、「普通」の生活より楽しい暮らしを送っていることを実感する毎日です。ようこそ、5アンペア部屋へ。




9/21

東京都国立市を訪ねる

東電と契約終了しました — 必要な電気はベランダで自給自足だ！

藤井智佳子 (糸へんのものづくり)




アパートでも電力自給は可能です。手づくり好きが高じて生活のエネルギーまで手づくりしている、ゆるーい暮らしのわが家をご紹介します。

10 月中の土日で日程調整中 1泊2日


栃木県那須で合宿

楽しい非電化生活のススメ — お楽しみ手作りワークショップ＆非電化工房徹底見学！

藤村靖之
(非電化工房 代表)



藤村研介
(非電化工房 副代表)



道具を手作りし、手足を使い、技を磨くことを楽しむ、ホドホド便利でエコロジーな生活スタイル。「早い・快適・便利」とは異なる新しい豊かさを体験してください。

●主著：藤村靖之『月3万円ビジネス』品文社 2011/藤村靖之『テクテクノロジー革命 非電化とスロービジネスが未来をひらく』(共著) 大月書店 2008
●参考文献：『エコライフ＆スローライフのための楽しい非電化』洋泉社 2006



非電化冷蔵庫



非電化風呂小屋

11/16

神奈川県横浜市を訪ねる

主婦がデマンドコントロール！ — 住民がつくるエネルギー基本計画

北原まどか (NPO法人森ノオト 理事長/青葉台発地元のエコ発見メディア「森ノオト」編集長)

3.11以降、主婦たちが家庭のエネルギー革命に取り組み始めた！ アンペアって？ ワットって何？ から始めて、我が家のデマンドをセルフコントロールする賢い暮らし術についてお話しします。



12/14

東京都小金井市を訪ねる

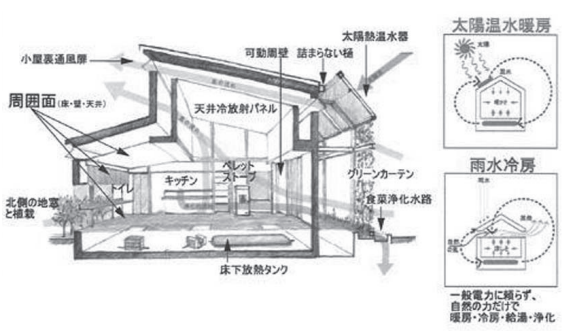
「住まうこと」全体をスローに — 雨・風・太陽の力を借りて快適に暮らす技術

黒岩哲彦 (環境建築家/エクセルギーハウス開発者)

さまざまな改革をすすめる基盤として、「身近なエクセルギーを生かす技術」だけが実現できる「物の生産スタイルの大変革」を「住まい」という物の集積環境を通して紹介します。



※雨デモ風デモライフラボを訪問します。http://amekaze.jp/



雨デモ風デモハウスのしくみ

太陽電池

